

# 巻 頭 言

院長 西土井英昭

今年の冬は30年ぶりの大雪で右往左往，夏は猛暑で干からびる有様。異常気象という言葉やかかつて経験したことのないような大雨など，まるで熱帯雨林やシベリアにいるかのごとく極端な気候変動が地球上で発生しています。これも我々人類が近代化の名前の下に大気汚染をしてきた報いなののでしょうか。自然と共に生きる，自然と共生するという当たり前のことを見つめ直したいと思う昨今です。

一方，当院の建築は着実に進んでいます。先日，講演会でとても良い言葉をいただきました。「人は建物に集まるのではなく，人は人に集まる」と。とても大事にすべき言葉のように胸に響きました。新しい建物ができたとしても最も大切なのは私たち職員の対応であり，姿勢であると思います。

さて，今年も鳥取赤十字病院医学雑誌Vol. 26を発刊することができました。論文は貴重な資料となり，後輩に引き継がれ，同じような患者さんに出会った時の大切な指針となります。自分の担当の分野だけでも是非一読されることを望みます。

平成29年11月吉日